

循環経済等に資する魅力的な脱炭素ライフスタイル創出・浸透事業 提案書評価・選定基準

1 評価方法

- (1) 委員は評価項目ごとに評価を行います。
- (2) 評価は、各項目5点満点としますが、比重（重み）を乗じたものが評価点数となります。
5点：特に優れている、4点：優れている、3点：普通、2点：やや劣る、1点：妥当でない
- (3) 各委員の評価点数と意見を踏まえて、委員会の評価点数を決定し、最終的に事業者を選定します。

2 評価項目

	評価のポイント	5点	4点	3点	2点	1点	比重	満点
(1) 実証実験の実施 ・要素1 脱炭素ライフスタイルへの行動変容 ・要素2 脱炭素化に資するサーキュラー・エコノミーの構築	【共通項目】 ・提案内容は実現性があるか ・参加人数が確保できる内容となっているか（企画内容や募集、周知体制など） ・実証実験を要素ごとに2つ行う場合は、両実証実験を連携して実施する提案となっているか ※市内中小企業の参加・連携が望ましい ※要素1及び要素2が相乗効果を発揮し、より効果の高い検証結果が得られることが望ましい	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当でない	×3	15
	【要素1】 ・ライフサイクルでの温室効果ガス排出削減効果の高い提案となっているか ・ポイント付与などのインセンティブ提示による市民の行動変容の効果検証が把握できる内容となっているか ・デジタル技術を活用したライフサイクルでの温室効果ガス削減量の見える化による、市民の行動変容の効果検証が把握できる内容となっているか	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当でない	×1	5
	【要素2】 ・ライフサイクルでの温室効果ガス排出削減効果の高い提案となっているか ・脱炭素化に資するサーキュラー・エコノミーや地域課題の解決への貢献を把握できる内容となっているか ・市内経済の循環の寄与が期待できる内容となっているか	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当でない	×1	5
	【今後の展開】 ・実証実験の成果を踏まえ、今後の展開が期待できる提案となっているか	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当でない	×1	5
(2) 温室効果ガス削減効果の算出	・ライフサイクルでの温室効果ガス削減効果の把握手法について科学的に妥当な提案となっているか ・取組のライフサイクルでの温室効果ガス削減効果を統一的に算出することが可能な提案となっているか ・取組の効果が、市民・事業者・地域・市内の単位で分かりやすく算出できる提案となっているか ・把握手法や算出・把握内容の妥当性を科学的・継続的に評価できる提案となっているか	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当でない	×6	30
(3) ビジネスモデル・地域モデルに係るアイデアの創出	・提案内容は実現性があるか ・多様な主体との連携が想定されているか ・知識や経験等が豊富など、適切な人材（ファシリテーターなど）が配置予定となっているか ・脱炭素化に資する魅力的なライフスタイルのビジネスモデル・地域モデルについて、新たなアイデアの創出が期待できる企画となっているか（テーマ設定や講師など） ・参加人数が確保できる内容となっているか（企画内容や募集、周知体制など） ・アイデアを実証実験や事業化につなげる効果的な方針が定められているか	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当でない	×2	10
(4) 社会実装に向けた仕組みの構築	・脱炭素化に資する魅力的なライフスタイルのビジネスモデル・地域モデルの社会実装を効果的に実施でき、ライフサイクルでの温室効果ガス削減効果が定量的に高まるなど、脱炭素化を加速することが期待できる内容となっているか ・多くの市民・市内事業者の参加が期待できる提案となっているか ・事業期間終了後においても、経済的に自走できるなど、持続可能な事業展開を実施していくことが期待できる提案となっているか	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当でない	×3	15
(5) 事業全体の運営管理・プロモーション	・具体的な運営体制や外部評価委員会の構成が示されているか ・知識や経験等が豊富など、適切な人材が配置予定となっているか ・事業全体で、脱炭素化に資する魅力的なライフスタイルのビジネスモデル・地域モデルについて創出から社会実装、浸透まで図られる提案となっているか	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当でない	×3	15
								100